

# 東日本大震災から6年 ~各界からの提言

東洋システム株式会社代表取締役 庄司 秀樹氏



本県の産業創出、成長を考えた場合、ロボット産業の進展は不可欠であり、看護・介護、原発廃炉などの多分野をロボットが担っていくことになり、県は水素社会実現のための基地づくりを進めています。水

## 環境と人に優しい都市に

場合、産業の心臓部がやられてしまいます。東日本のいわき市に電池産業を集積した「バッテリーバレー」を構築することで、国内産業のリスクを軽減し、県内に地域循環型のバッテリー産業が根付いていくことになり、将来的には、世界に類を見ない再生可能エネルギー100%の県となつて、環境と人に優しい未来都市を目指すことが私たちの責任だと考えています。

会川鉄工株式会社代表取締役 会川 文雄氏



震災、原発事故から6年が経ちますが、復興はまだ道半ばだと感じています。復興特需が一段落し、過渡期を迎える今、原子力に代わる新しい産業が必要だと思います。震災後、私どもは風力発電など再

## 新産業を浜通りから世界へ

生可能エネルギー関連産業とロボット産業に新たに参入し、二つの軸を中心に産業の構築と、雇用の創出を目指して日々取り組んでおります。風力発電事業では、国内では珍しい風力発電タワーの製造に着手しました。欧州では風力事業が産業として成り立ち、多くの雇用を生んでいます。日本ではまだまだ実証段階で

ですが、近い将来、国産の風力タワー製造拠点として、浜通りから世界へ発信していきたいと思っています。また、ものづくりの技術力を生かし、介護用ロボットの開発にも力を注いでいます。実証を重ねて徐々に結果を出していきたい、医療を支える産業を創出したいと考えています。課題は尽きませんが、業界の先駆けとして先頭に立ち、地域に貢献できるようにこれからも挑戦し続けてまいります。

芦ノ牧温泉観光協会会長 星 弘子氏



震災から丸6年がたちますが、いまだに原発事故による風評被害の影響を拭き切れておりません。そのような中で多くのお客さまに支えられ、本日まで営業を続けてこられたことに感謝申し上げます。

## 観光と地域振興努力重ねる

震災後、観光客の皆さまからは、「芦ノ牧は寂しい」「活気がない」「暗い」といったお話をうかがいました。何とかして活気のある温泉街を取り戻そうといういろいろと模索して、一昨年、多くの方々の温かいお力添えにより、新たな名所「芦ノ牧温泉かがやき公園」が完成いたしました。今年には念願でありました東武鉄道

の新型特急が会津田島駅まで乗り入れます。会津の観光の新たな幕開けだと思っております。これを機に、大勢の観光客の皆さまに芦ノ牧を訪れてもらえるよう、各旅館が一層の力を入れてまいります。観光も一年一年変わります。観光振興と地域振興の両面を合わせて一生懸命取り組み、震災以降落ち込んだ入り込みを何とかでも取り戻すため、これからも一同で頑張っております。

七日町通りまちなみ協議会 会長 渋川 恵男氏



「ほんとうの空」があるはずの福島県の上空に、まだ「風評被害」という目に見えない魔物が漂っている。しかし、東日本大震災と原発事故を検証し、記憶に刻印しつつも、前向きに取り組んでいかなければ、この

## 会津の矜持でインバウンド

先の発展もなければ、進歩もない。昨年「会津三十三観音巡り」が日本遺産に認定された。4月21日には東武鉄道の新型特急「リバイブ会津」が浅草から会津田島まで運行される。来年は会津戊辰戦争150年の節目の年にあたる。地域資源や素材を有機的に活用しながら会津の魅力在全国に発信していけば、交流人口

(観光客)の拡大にもつながり、地域の活性化を図ることができる。私たち協議会は視察研修で福岡県の門司港レトロ地区と大宰府天満宮を訪れた。大宰府天満宮では中国人観光客の圧倒的な数に目をむいた。しかし、人数の割には売り上げが少ないという。感じるのは数値の幻想に翻弄されないということだ。それが会津の矜持でもある。会津にふさわしい質の高いインバウンド(外国人観光客)があるはずだ。きっと。

伝統会津ソースカツ丼の会・会長 中島 重治氏



あの震災から6年。風評被害は依然続いている。会津の状況にも厳しいものがあるが、前進あるのみだ。外国人観光客の爆買いが話題になり、訪れる外国人観光客も増加中だ。福島県にも足を運んでもらおう。一

## 知恵を集結し誘客プラン

つは安全安心(環境、食料、水など)を、外国語で分かるように作成し、観光案内や各店舗の店頭に掲示する。それも統一した情報にまとめることだ。バラバラでは混乱する。わがソースカツ丼の会も安全表示とメニューを開発中だ。インバウンド誘客に向けた取り組みの一つで、新潟空港と会津を結ぶ観光ルートを

つくり、磐越道と磐越西線を活用したプランだ。新潟の海と新鮮な魚介類、会津の歴史や酒、漆器、安全でおいしい野菜や果物。ソースカツ丼も目玉の一つだ。そして東北道や常磐道、会津鉄道を使って東京へ向かうもので、逆回りもある。一番の願いは福島空港の活性化だが、今のままでは難しいと思う。まだ伝わっていない会津の魅力が山ほどある。知恵を集結して、今から始めよう。必ず良い結果が待っていると信じて。